



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: CELEBRATE ROTARY - 100 YEARS

「ロータリーを祝おう－100年の歩み」

2004～2005年度・国際ロータリーテーマ／グレンEエステス・シニア会長

「ひとが基本です－みな輪になり手をつなごう」

2004～2005年度・東京新南ロータリークラブテーマ／入沢頼二会長

【本日の例会】2004年10月15日 第860回例会

◎卓話

「運をつかむ社員を育て、良い会社をつくるために」

東京西ロータリークラブ会員
経営サポートサービス(株)代表取締役社長 重 茂 達 氏
(紹介者 渡部会員)

【先週報告】10月8日 第859回例会

◎卓話

「地雷ではなく花をください」

特定非営利活動法人

難民を助ける会 理事長 柳 瀬 房 子 氏
(紹介者 清水会員)



◎会長報告

石坂二郎会員は病気療養のため、しばらく例会をお休み致します。石坂会員の一日も早い御回復をお祈り申し上げます。

◎幹事報告

- ①第1回クラブフォーラムを11月19日(金)例会後、「四大奉仕委員会活動の活性化について」のテーマで開催致します。当日の卓話はありません。全会員のご出席をお願い致します。
- ②ポリオ撲滅キャンペーンの為に東京グレイス会チャリティーコンサートが11月15日(月)紀尾井町ホールで開催されます。チケット購入申込は事務局へお願いします。
- ③2004～2005年度版「全日本ロータリークラブ会員名簿」(CD-RM)に一部表示出来ない箇所があり、そのため修正版がロータリー名簿委員会から届きました。ご購入申込みされた会員各位にお配り致します。

◎社会奉仕委員会報告(岩上委員長)

- ①風の子会主催第11回「障害者は外に出よう」。参加者募集のご案内です。今年は「おでかけ一番、横浜二番、三時のハイクは麻布十番」と楽しいタイトルで、車椅子の方たちと地下鉄を利用する横浜散策です。参加者全員の事前打合せが11月6日(土)午後1時より港区障害福祉センターにて行われ、11月14日(日)が本番の「横浜散策」です。雨天の場合は11月21日(日)に延期されます。既に二回会議がありましたが、車椅子を利用されている障害を持った方たちは、大変この日を楽しみにしておられます。多くの会員の皆様の参加、ご協力をお願いいたします。

ロータリアンの職業宣言

事業または専門職務にたづさわるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

- 1)職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2)職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德規準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3)職業の品位を保ち、自ら選んだ職業に於いて、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽せ。
- 4)雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または職務上関連するすべての人々に対して、ひとしく公平なるべし。
- 5)社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6)自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の質を高めよ。
- 7)広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うにあたっては、正直専一なるべし。
- 8)事業または専門職務に関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与えることなかれ。

国際ロータリー 1989年

- ②RI100周年事業の日程と会場が決まりました。永らくご心配をお掛けしましたが、2005年1月15日(土)、会場は赤坂区民センターホールを予約する事ができました。

◎慶事披露 お誕生日祝／渡部一元君(10月8日)、
庄司泰典君(10月11日)吉岡琢磨君(10月13日)

◎出席報告

会員58名／出席34名・欠席24名(出席規定免除者7名)
ビジター 2名



10月8日 / 7件 14,000円
2004～2005年 累計 411,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

清水實／柳瀬房子様、本日の卓話よろしくお願いします。
渡部一元／お誕生日祝いありがとうございます。今日10月8日が誕生日です。何回目か忘れました。庄司泰典／誕生日祝いありがとうございます。村山さん来週幹事代役よろしくお願いします。吉岡琢磨／西澤民夫さんニコニコご担当ご苦労様。誕生日祝いありがとうございます。岩上義明／100周年事業の会場がとれました。ホットー安心です。石井謙次／西澤民夫さんに声を掛けられて！西澤民夫／皆様ご協力ありがとうございました。

日常語となった建築用語

例会帰りの地下鉄車内、中刷り広告を何気なく眺めていると『鎬を削る』、『子は親の鋸』、はたまた『政治の建前』、『根回し』、等の言葉がちりばめられた見出しが目に留まった。週刊誌の記事内容を一言で興味をもたせる手立てとして使われているのは容易に分る。いつの間にか専門分野の用語が深い意味を知らなくともその言葉だけでイメージを掴め、日常語として多用され親しまれていることに気づかされる。有史以来人間が言語を発明し、ひとの生活に欠かせない衣食住にまつわる言葉が生まれた。多様なコミュニケーションの手段として、身近な専門用語、語彙が物事の形容や慣用句に使われるようになったのだと考えられる。中でも建築用語に由来する言葉は、特に日常生活に深く根を下ろしている。例えば、暮らし、鋸、建前、しのぎ、土台、うだつなど枚挙に暇がない。

もともと『暮らし』は食料庫である『倉』から生まれ、倉を中心に家族、隣人同士が住まい、くらしとなったとも言われている。『鋸』は、「もの」と「もの」、木造家屋の柱と梁を繋ぎ止める金具のこと。転じて、夫婦の危機を救うのは子供であり、子への愛情が親を繋ぎ止めるとされる。昨今の子供の虐待報道は、改めてこの慣用句が活躍するほど親の自覚が問われている。

また『鎬を削る』とは本来、大工仕事で使われる鋸の一種で断面が三角形の薄型をした鋸で、他の大工道具では使用困難な木材の隅を丹念に削り仕上をすることを指す。スポーツ競技での伯仲した接戦や、日夜困難な仕事を成し遂げようと努力している姿などに充てていることが多い。

少し前、欠陥住宅のニュースに、土台が傾いたり腐っていた等といった、建物構造の欠陥を指摘した記事が目についた。本来『土台』は、木造住宅の柱や床を支える横材で、地盤に定着させたコンクリート等で出来た基礎の上を横に敷いた木材のこと。建物を安定的に支えるためには、土台よりは『基礎』が重要だが、一般には土台が通りやすいのかも知れない。

政治家は、時に建前と本音を巧みに使い分けることに長けていると言われる。広辞苑では、表向きの方針を建前、本心を本音としている。『建前』、実は建築用語。木造住宅のむねあがり、上棟のことで、基礎ができ、柱、梁、けたを組み上げる言わば骨組みを指し、まだ外装や内装がない状態。実際には建物の完成までには、更に建前までの倍程の期間が必要で、骨組みを見て完成の姿をあれこれ想像することが長く、転じて物事の方針、構想といった意味になったのではないかと。

ロータリーでは、綱領や4つのテスト等を活動の拠り所、いわば建前のもとで奉仕活動が繰り広げられているが、本音は会員同士の親睦で得がたい友人を作ることや、仕事の機会を広げたいといったことも垣間見える。

いづれにしても建前と本音どちらもバランスよく保たれてこそ楽しいクラブライフに繋がるのかも知れない。

100周年記念事業実行委員会報告

10月1日の例会前11時より実行委員会を開催し、記念事業の進捗状況と今後の対策を検討した。

- 1) 11月20日小中学生他を対象として映画「エイブル」の上映と講演会を行う予定であったが、会場の確保が困難で、実施時期を来年1月末まで延ばし港区内の会場確保に全力を上げ、近日中に日時、場所を確定する。
 - 2) 講演を予定していた細川佳代子氏の日程の都合がつかないので、代替りの人を選考して交渉に当たる。細川氏からはメッセージを貰うことを検討する。
 - 3) 港区と港区教育委員会に対する絵画展の中止届出と今回の後援承認申請書は提出済みである。RIに対しても変更届けを提出した。
 - 4) 本記念事業の為、地区に申請したロータリー財団地区補助金交付が承認された。
 - 5) 学校訪問については至急作業部会を作って訪問の段取りと細部の詰めを行う。又上映と講演実施後にアンケート記入をお願いするなどフォローアップについても検討する。
- 出席者(順不同):入沢、柴本、大日方、岩上、渡部、清水、椎名、竹本、石井、石川、四分一、西澤(民)、庄司
(庄司 記)

10月火曜会報告

10月の火曜会は冷たい秋雨の中16名の参加者を集めて開催されました。

当日のスピーカーは、吉田武さんと武下さんの予定でしたが、武下さんが急遽体調不良の為吉田さん一人になりました。

小杉眞史親睦副委員長の軽妙な司会で始まり、吉田さんがまずご自身の健康問題の経験を踏まえ、これからも元気に生活していく為には、一病息災の方がいいのではないかと思いますようになったと語られました。

そして、吉田さんが開発した浴室での独特の体操を披露し、自分自身もこの体操のおかげで大変体調も良く減量も出来たので、ぜひ出席者の皆さんにも実践してほしいと要望されました。

続いて、ご家庭での奥様や、ご子息、お嬢様とのエピソードを交えながら家族を紹介され、最後には奥様との馴れ初めまで披露していただきました。

続いて、石川さん、椎名さん、竹本さんがマイクを持ち一言づつ吉田さんのスピーチの感想などを語られ、お開きになりました。

雨の中家路を急ぐ方、二次会に行く方それぞれに分かれました。

(石井 記)

参加者:西澤(正)、吉田(武)、小杉(眞)、庄司、尾上、吉岡、椎名、岩上、石井、高須、石川、入沢、村山、竹本、福島、早川(順不同、敬称略)

【次週予告】10月22日 第861回例会

◎卓話予定

「これから注目したい旅行先」

(株)パノラマインターナショナル取締役副社長 金子良三氏

(紹介者 清水会員)